

写真の撮り方と整理 フォトムービーへの展開

23期 元浦志信

撮影の被写体の世界は大きく分けて静体（風景・植物の花・人物）と動体（スポーツ・幼児・昆虫や野鳥など動物）に分けられる。・・・それぞれの撮り方の詳細は後述します。

写真の撮り方：カメラ任せ（フルオート）で撮るというのも1つの方法ですが・・・

写真撮影の4つの基本撮影テクニック

1. ホワイトバランス
2. 露出補正
3. ISO感度
4. ピクチャーコントロール

この4つを使いこなすと思うような写真が撮れるようになります。

1. ホワイトバランス ～色が違うと思った時に～

先ず、撮影に出かけた時に最初に設定しなければならないのがホワイトバランスです。

晴れの日には「太陽光」に、曇りの日は「くもり」に設定するのが原則です。

ホワイトバランスは露出補正と共にとっても役に立つ機能で、どのような場面でも白い被写体を白く写すために調整してくれる機能です。

基本的な使い方

- ・オート・・・基本的にはオートでOK
- ・太陽光・・・晴れた日の屋外での撮影時
- ・くもり・・・曇った日の屋外での撮影時
- ・蛍光灯・・・蛍光灯の灯りの中での撮影時
- ・白熱球・・・白熱電球の灯りの中での撮影時

例えば、夕焼けをより赤く綺麗に撮りたい時に、「くもり」や「日陰」にホワイトバランスを設定して撮影。



逆に都会の冷たいクールな感じの写真を撮りたい時は「白熱電球」モードを使うと、写真が全体的に青く写ってとてもクールな感じが出たりします。

ホワイトバランスを「オート」にして撮影→「白熱電球」モードで撮影したもの



2. 露出補正 ～思い通りの明るさの写真に～

写真の明るさや暗さを調整する機能で、露出をプラスにすると明るい写真に、マイナスにすると暗い写真になります。ファインダーやディスプレイで、ちょっと暗いなど感じたら露出補正をプラスに、明るすぎるなど感じたら露出補正をマイナスにします。

お勧めは1つの被写体に対して、露出を少し変えた写真を数枚撮影しておくことです。

↓の写真は左から露出補正+2、+1、±0、-1、-2で撮影した見本。



3. ISO感度 ～手ぶれする時に～

カメラの感度を調節する機能のことで、ISO感度を上げて撮影すると、夜や暗い部屋などで撮影する際も手ぶれしないで撮影できる。ISO感度を上げるとシャッタースピードも上がるため（コンパクトデジカメの場合）、手ぶれもし難くなります。

ただ、ISO感度を上げ過ぎると画像が荒くなりますので注意が必要です。

4. ピクチャーコントロール・ピクチャースタイル（仕上がり設定）

N i k o n : ピクチャーコントロール

C a n o n : ピクチャースタイル

普段はスタンダードでもよいと思いますが、場面によって使い分けることで色鮮やかな写真やモノクロの写真など面白い写真が撮れるようになります。

例えば、色の濃さをプラスにしてゆくと、空をもっと青くという風に撮影することも出来、色の濃さを強調して撮影することも出来ます。



この4つの基本撮影テクニックを使いこなすと何でも撮影できるようになりますが・・
最初はとにかくホワイトバランスと露出補正、場合によってはISO感度を使いこなせるようにやってみて、慣れてきたらピクチャーコントロール・ピクチャースタイルをいじってみるのがよいでしょう！

被写体の違いによる写真の撮り方

☆被写体が静体の時（風景・植物・人物ポートレート etc）

主題（主役）を引き立てる副題（脇役）を決める

例 1）建物を主題にして、副題を桜にした写真

桜を前ボケにすることで主題と副題の関係性を明確に写しだす撮り方



例 2）水面に映った風景を主題にして、本来の風景を副題にした撮り方



例 3）特に、花や花卉の撮影はマクロでAV優先にして、シベにピントを置いて撮影

* AV優先＝明るさを優先固定して撮影する方法



☆被写体が動体の時（スポーツ・童幼児・昆虫・野鳥など動物）

- ・連続撮影（連写）が絶対条件
- ・シャッタースピード（TV優先）を速くする
- ・ISO感度を上げること・・・ISO1200、1600 程度まで上げる
- ・表情チャンスを逃さないこと・・・早めにシャッターを切ること
- ・動物は眼にピントや光が合っていること

例) 置きピンにして、早めに連続撮影でチャンスを逃さなかった好結果の写真



☆思い出の写真は、必ず整理しておきましょう。整理の仕方は以下のURLを参考に・・・

<http://121ware.com/navigate/application/prevent/useful/20170509/index.html>

写真を撮る・・・整理そしてフォトムービーなどに編集へ

1. フィルム時代と違ってデジタル化されたので、条件を変えて数多く撮る。
2. 撮った写真は撮影のテーマや日付毎にピクチャーなどのフォルダにこまめに整理する。
3. フォルダ内の良いと思われる写真を選んで、フォトムービー編集用にタイトルを付けて保存する。
4. フォトムービーに編集・作成すれば後の楽しみが倍増する。

～～お知らせ～～

7月13日～3日間フォトムービー作成の講習があります
ご希望の方は、是非ご参加ください。

また、今年もACパソコンフェアが開催されます

期間：11月初旬3日(日)～、11月8日(金)～いずれか

会場：市民センター 多目的ホール

写真・加工写真の展示作品とフォトムービー作品を募集
します。是非、沢山のご応募をお待ちしています。

- 野鳥
- 旅行
 - 20140422オランダ
 - 20140423ベルギー
 - 20140424ベルギー
 - 20140425モンサンミッシェル
 - 20140426パリ
 - 20140427エッフェル夜景
 - 20140428
 - 20150524ライン川下り
 - 20150525ハイデルベルグ
 - 20150526ノイシュバンシュタイン
 - 20150527ハルシュタット
 - 20150528ウーン
 - 20160630ニアガラ
 - 20160701レイクルーズ
 - 20160702カナディアンロッキー
 - 20160704ビクトリア
 - カナディアンロッキー大自然
 - ライン川クルーズ